

義務教育学校設置にかかる Q & A

【通学路について】

Q: 舟戸からアリーナの横を通っていく道でアリーナ横にグリーンラインを設置できないか。

A: アリーナ横の道にグリーンラインを設置します。

Q: 久度大橋は通行量が多いことから何か対策を考えているのか。

A: 久度大橋は左側通行であるため、両側に白線を設置し、子どもたちにはその白線の内側を歩くよう指導していきます。

Q: 出合橋から葛下側南側を通る通学路になるならば、川に転落することを防ぐことと壁の南側の木々の整備をお願いしたい。

A: 開校までに北側を通るルートも含め、あらためてPTA 地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 葛下から達磨寺近くに繋がる JR 和歌山線の線路下をくぐるところが、舗装等何も対応されていない線路に入る危険性がある。

A: 線路に入れないようフェンスを設置するとともに、舗装等整備します。

Q: 達磨寺のすぐ北側の道は通学路にできないのか。

A: 朝は片岡の里こども園の車の出入りが多く、現在、王寺小学校でも通学路から外しているため、今回も通学路から外しています。

Q: ニチアスの西側の道路にガードレールを設置できないか。

A: その箇所は合同点検も行い、県道であることから県の高田土木事務所に要望しています。現状、歩道と車道が分かれていることと歩道に段差が設置されていることなど、安全対策はとれているというのですが、今後も引き続き強く要望していきます。

Q: 王寺大橋の横に遊歩道から上がる階段を設置すれば通学路の距離等の短縮など改善ができる。設置の検討はできないか。

A: 現在のところ、階段を設置することは考えていません。

Q: 舟戸からはアリーナ横を通って陸橋を渡り「かまくぼ橋」を渡るルートになっているが、郵便局横を通り王寺大橋を渡るルートで行くことはできないか。

A: あらためてPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 中学生も現在通っている本町1丁目の交差点(銀の卵前)は通らないことになるのか。

A: 交通量が多く、危険なため通学路から外しています。

Q:	久度大橋から南側ロータリーへ下る階段を大人数で歩くことに危険性があるのではないかと。スロープを設置する等対応してほしい。
A:	現時点では、そのような対策は考えていません。見守りを中心に対応したいと考えています。
Q:	健民グラウンドから北上する東側の通学路に、古くて急な擁壁が続いている。雨などで崩壊の恐れはないのか。
A:	土砂災害の恐れのある危険箇所について把握を行っていますが、ご指摘の擁壁はその指定地域には入っていません。しかし、傾斜の急な擁壁であるため、逐次点検していきます。
Q:	健民グラウンドの東側の通学路は、登校の時間帯に高校生がランニングをしており危険ではないか。
A:	王寺工業高校にもご協力をお願いするとともに、見守り体制も含めて安全を確保していきたいと考えています。
Q:	王寺中学校西側の岡田文具店前の横断歩道は車の交通量が多い。通学路として使用するなら、陸橋等の設置が必要ではないか。
A:	その箇所は、危険だということで通学路には設定していません。その交差点北側の信号のある横断歩道を渡るルートを通学路に設定しています。
Q:	いずみスクエア敷地から西側歩道に上がる坂道をバイクに乗ったまま通行している人が多く、接触事故が気になる。
A:	バイクの乗り入れ等に関しては、利用者に通学路であることを十分周知し、ご協力をお願いしていきます。
Q:	踏切を渡る小学生の危険意識が低い。かつて中学生が列車と接触するという事故も発生している。ことあるごとに踏切以外線路へ侵入しないなどの教育を徹底してほしい。
A:	これまでも学校で、登下校に関する指導を行う中で踏切の横断等について十分注意して通学するよう指導していますが、あらためて学校と連携しながらしっかりと指導していきます。
Q:	畠田から太子の林道は木の伐採により明るくなってきているが、車が通り、危険な運転をする車があるとも聞く。登校の時間だけでもスクールゾーンにできないか。
A:	登校の時間帯にこの箇所について交通量調査を実施した結果、交通量が少ないことから、警察からは現時点においてはスクールゾーンの設定は難しいとのことでしたが、引き続き要望していきます。
Q:	夏休みに王寺南小学校手前の急な階段の南側の草が生い茂って通行できない状態の日があった。
A:	階段の箇所は定期的に点検をしており、今後も除草等の対応を行っていきます。
Q:	門前、白瓜の部団の子どもたちは、現在うどん店前の横断歩道を渡って登校していることもあり、通い慣れた通学路を使いたい。また、片岡の里こども園前の横断歩道前の歩道は若干狭く、そこへ多くの子どもたちが集まるのは危険である。
A:	うどん店前の横断歩道は、農協側から左折する車が横断歩道までに距離があることからスピードが出てしまい、そのことによって事故が起きていることや見守り体制の集約も含めてこの一本化した通学路にしています。あらためてPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 王寺南小学校の北側の階段下の坂道の歩道が、幅が狭い上にゴミ置き場が歩道をふさぎ、2列で歩くことが不可能である。

A: ゴミ置き場の件については現地に行き確認しており、自治会長に移動していただくようお願いしていきます。

Q: 片岡山荘から王寺小学校へ向かっていく道は、7時半以降の車の往来が多く、下りはスピードも出している。孝霊天皇陵東側の住宅地から出てくる車から見通しが悪いので、何らかの対策をしていただきたい。

A: 現場を確認しどのような対策がとれるか検討します。また、ルート変更については、あらかじめPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 王寺1丁目からのルートは王寺大橋を通るルートになっているが、王寺アリーナの方から行くことは可能か。

A: 逆に王寺アリーナの方ではなく王寺大橋のルートで行けないかという意見もあります。あらかじめPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: アリーナ前の歩道橋を通る際、西大和学園の学生と重なって危なくないか。

A: 多くの西大和学園の生徒は王寺郵便局前の交差点を通行しています。また、通行ピークの時間帯が違うことから支障はないと考えていますが、立哨等によって安全を確保したいと考えています。さらに、西大和学園や王寺工業高校にも片側通行等の通学マナーの呼びかけなどを行っていきます。

Q: アリーナ前の歩道橋が劣化していないか心配である。

A: 国の奈良国道事務所が管理しており、定期点検に基づき必要な修繕等を行っていただいています。

Q: 前田橋は現在、朝など原付の通行が多い。また、橋が錆びているが大丈夫か。

A: 定期点検を行っており問題ないが、老朽化していることもあり、現在、県の高田土木事務所が橋の架け替えを進めています。

Q: 子どもたちが集団でニチアス西側の踏切を渡るのボランティアの見守りがいても危険ではないか。朝の通学時間に踏切が下りることも多いため、中学生が現在も通っているカルケットのルートに見直してもらいたい。

A: カルケットは「すぐに水没する」「バイク、自転車の通り抜けがある」「高さが低く狭い」「不審者対応が難しい」こともあり、現在、中学生は通っているものの来年度は、多くの児童生徒が通ることになり危険ではないかということでルートから外しています。今示しているルートは現在の中学校の通学路であり、より安全と考え設定したのですが、あらかじめPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 舟戸1丁目(北側)と3丁目(北側)が別ルートになっている。人数が少ないので同じルートにはならないのか。

A: あらかじめPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 開校までに子どもたちが登校時間帯に新しい通学路を歩くといった体験をさせてあげてほしい。

A: 事前に新しい通学路を歩いていただく取組を行います。

Q: 王寺駅南側のロイヤルホスト前のT字路から遊歩道に上がるルートは通れないか。

A: このルートも検討しましたが、現在、王寺中学校も通学路ではないことや朝は駐輪場に入るバイクが通り危険であることなどから外しています。あらかじめPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 「王寺中学校～葛下川遊歩道トンネル」のバイク通行の終日禁止とあるが自転車はどうなるのか。

A: 自転車については生活上の必要性やバイクよりは危険性が低い等の理由から規制は行いません。しかし、トンネルの入り口にバリカーを3基設置し、物理的に速度を緩めていただく対策を行います。また、トンネルから「かまくぼ橋」までグリーンラインを引き、自転車と子どもたちの導線を明確にします。

Q: 王寺大橋を通るルートは、王将前の横断歩道を渡るのは、現在の中学生の通学路ではあるが、低学年は歩くのが遅いため、信号機の時間が心配である。この場所に立哨はあるのか。

A: 青信号の長さは30秒程度あり、十分渡れるのではないかと考えています。立哨については、立哨箇所に指定しており人員の確保に努めています。

Q: 久度大橋を渡るルートで登校中は通行人と逆行するなど危険である。ボランティアの立哨をお願いしたいことと通学路になることを通勤者等も含め周知してほしい。

A: 立哨箇所にも挙げており、また、通勤者等には、看板を設置し周知していきたいと考えています。

Q: 実際の通学時間の様子を見て、普段では分からない危険性を把握することが必要である。子どもたちが歩くことが難しいのであるならば教育委員会の方が実際に見に行くということはあるのか。

A: 教育委員会としても登校の時間帯に実際に歩き、この案を作成しています。また、子どもたちも実際に歩かせ指導します。

Q: もし、今後、通学路に対する意見等があれば、どこに伝えればよいのか。

A: 学校を通じてご意見をいただきますようお願いいたします。

Q: 「王寺中学校～葛下川遊歩道トンネル」の所で朝だけでも自転車を押して通るように規制できないか。

A: 警察の管轄となるため、今後、協議していきます。

Q: 登下校の時間が長くなるとトイレに行きたくなる可能性が出てくるが、どのように対応したらよいか。

A: 現在も約40分かけて登下校する部団がありますが、学校でトイレは済ましてから出るといった指導を行っており、子どもたちも十分対応できています。
今後、緊急時にはこども110番を掲げているご家庭にもご協力をお願いしていきます。

Q: 畠田地域の小学校低学年だけでも奈良交通のバスの利用などは考えていただけないのか。

A: 通学の距離、時間について国が基準として、小学校は約4km、中学校は約6km、約1時間を示しています。南校区の通学路で1番遠いところで約2km、約35分を想定していることから、バスの利用は考えていません。

Q: 開校後、通学路を変更することはできるのか。

A: その地区の総意であり、安全性が確保されていると判断すれば変更することは可能です。
その際は、PTA地区委員や学校に相談していただきますようお願いいたします。

Q: 泉ヶ丘から青松園に抜ける道があり、安全性、所要時間、また、現在王寺小学校の通学路としても使用していることからみても現在のいずみスクエア側の道を通る案よりもよいため通れるようにしてほしい。

A: その箇所は、ため池の管理用通路であり、町が管理している道路ではないため、安全性の確保等、調整したうえで検討します。

Q: 王寺・香芝線の片岡山荘近くの擁壁に木が生い茂っていて木が倒れてこないか心配であるが、改善できないか。

A: 現場を確認し、必要であれば伐採等対応します。

Q: 部団によって通学路が変わるが、最寄りの部団ではなく、違う部団と一緒に通学しても良いのか。

A: 安全上の観点からできません。
地区全体で話し合い、集合場所・通学ルートは総意としてご意見をあげていただきますようお願いいたします。

Q: 道路に貼っている「止まれ」等のシールが剥げているので貼りなおしてほしい。

A: 場所を確認し対応します。

Q: 王寺小学校グラウンド南側の小道を通して国道168号線に合流したい。

A: あらためてPTA地区委員や学校等と相談しており、近日中に最終決定します。

Q: 「王寺中学校～葛下川遊歩道のトンネル」のバリカーはバイクが物理的に通れなくなるのか。

A: U字型のバリカーを3基設置する予定ですが、車いすの方が通れるように1m程度の間隔はあるため、物理的にバイクは通ることができますが、バイクの通行規制をかけるため、警察に取り締まりを強化してもらいます。

Q: 通学路に「ゾーン30」を設定したりしないのか。

A: 設定には地域の同意等、必要な手続きがあり、現在のところ設定する予定はありません。
今後、様々なご意見をいただく中で検討していきます。

Q: 「王寺中学校～葛下川遊歩道のトンネル」のバリカーの設置とバイク通行禁止についてどのように事前に周知するのか。

A: 事前に町の広報等でお知らせします。

Q: 南校区の5,6年生の通学路はどうなるのか。5,6年生だけの登下校となると不安である。

A: 現在の王寺南中学校の通学路で、今現在の中学生の子どもたちと一緒に通っていただきます。

Q: 王寺霊園付近を通る通学路は、道路と歩道を分ける線や目印など何もない。対策してほしい。

A: 県の高田土木事務所に外側線の引き直し等、開校までに何らかの対策を講じていただきます。

Q: 国道168号線沿いは影になる場所もなく、真夏に長距離を歩かせるのが心配である。学校の方で熱中症対策をしてほしい。

A: 現在の学校でも遠方から登下校している子どもたちが数多く在籍しており、必ず帽子を被る、必要があれば日傘をさす、登下校前には水分補給を十分に行うなど熱中症対策に配慮した指導を行っています。

【見守り活動について】

Q: 見守り隊の募集に、例えば歩数に応じて特典を設けるなど、工夫した募集をしてはどうか。

A: 見守り活動は地域ぐるみで取り組むことが重要だと考えており、町をあげて募集を進めています。今後、継続した見守り活動につながっていくよう工夫していきたいと考えています。

Q: 見守り隊の協力を依頼する社会教育団体は、具体的にどのような団体なのか。

A: 王寺町地域ぐるみ児童生徒健全育成推進協議会という組織があり、自治連合会、交通安全母の会、民生児童委員協議会、更生保護女性会、PTA等学校関係など多くの団体が入っており、そちらの団体への説明と募集をお願いしています。

Q: 見守り隊の予定人数が集まらなかった場合、どのような対策を取るのか。

A: 1つの立哨箇所には5人を設定することで、空きが出ないように調整していきます。また、日によって急に立哨できない日が生じた場合、他のメンバーに声をかけて空くことがないようにしていきたいと考えています。

Q: 開校後に要注意箇所が新たに出た際に、立哨箇所はどのようになるのか。

A: 必要であれば、立哨箇所を増やし、募集をかけていきます。

Q: 警察も危険箇所には立っていただけませんか。

A: 西和警察に協力を依頼しています。

Q: 立哨箇所に急遽欠員が出た場合に保護者に連絡がいくようなシステムを作れないか。

A: 各立哨箇所のボランティアの中で連絡体制を築いていただくようお願いいたします。

Q: 見守り隊への登録は希望者が安全であるという審査は特になのか。

A: 住所等の個人情報を登録していただきます。
また、見守り隊の中に警察 OB にも入ってもらい未然に事件等を防ぐようにしたいと考えています。

Q: 見守り体制を築けない箇所を警備会社に委託するなど考えられないか。

A: 見守りは地域で行っていただくのが基本ですが、支障が出た場合は検討します。

Q: 子どもたち全員に GPS を使った見守りサービスを行うとのことだが、詳細を教えてください。

A: (株)otta、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)と町の3者で協定を結びました。小型の発信器を子どもたちに持たせ、自動販売機や通学路沿いの店舗、個人のスマホを基地局として設定し、子どもの現在地がわかるというサービスです。無料サービス(万が一のときに、自治体指定の窓口に電話で問い合わせることで、行動履歴を確認できるサービス)と有料サービス(保護者自身で、登下校や予め設定した見守りポイントの検知通知や地図による位置情報履歴を確認できるサービス:月額約500円)があり、どちらかを選んでいただけます。

Q: GPSを活用した見守りについて、固定基地局の設置は協定を結ぶコカ・コーラの自動販売機限定のものか。

A: コカ・コーラの自動販売機その他、通学路沿いの店舗や個人のお宅にお願いして固定基地局を増やしていきたいと考えています。また、スマホにアプリを取っていただくと移動基地局の役割を持つため、アプリの登録者数を増やしていきたいと考えています。

Q: GPSを活用した見守りについて、発信器は基地局からどの程度の距離で電波を受信するのか。

A: 条件にもよりますが、半径約20～30mです。

Q: GPSを活用した見守りについて、固定基地局の設置場所は現時点で決まっているのか。

A: まだ具体的には決まっていますが、通学路沿いを中心にお願いし、最終的には町全体をカバーできるようにしていきたいと考えています。

Q: GPSを活用した見守りについては、いつから運用を始めるのか。

A: 令和4年4月から運用を開始します。

Q: 見守り隊の登録については、登録後に時間帯等を調整してもらうことになるのか。

A: 登録していただいた後に可能な時間帯等をお聴きし調整します。

【その他】

Q: 開校後も王寺北義務教育学校の工事は続くのか。また続くのなら、工事車両の出入りについて登下校の時間帯は車両を止めるのか。

A: 開校後に王寺中学校の校舎を解体し、グラウンドを拡張する2次造成工事に入ります。
工事車両の出入りについては、登下校の時間帯を避けます。また、工事エリアと学校エリアを明確に分け、ガードマンも配置したうえで、安全を第一に進めていきます。

Q: 王寺南義務教育学校では畠田地区の児童は学校全体の2割程度で、開校後の友だち関係が心配である。また王寺南小学校の施設の使い方も分からないところから始まる。入学するまでの間の交流会や施設見学等のフォローはどうなっているのか。

A: これまで野外活動や社会見学と一緒にいくなど取組を進めてきました。その後も何度か交流する企画を立てていましたが、コロナ禍により実施できていません。今後、オンラインによる交流や子どもたち同士が直接交流する取組を進めていきます。

Q: 新しい学校での特別支援教育はどうなるのか。

A: 子どもたち一人一人の発達特性や発達段階に応じた系統的・計画的な個別の教育支援計画・指導計画を作成し、一人一人の子どもに応じたきめ細かな支援を9年間行います。さらに通級学級を開設します。

Q: 新たに購入しなければいけない持ち物、消耗品等、学校全般の内容はどうなるのか。

A: 2月から就学前(現在の年長)の保護者、在校生の保護者を対象とした説明会を義務教育学校(北・南)単位で行う予定です。

Q: 給食センターが新しくできるが、外注になるのか。

A: 新しくできる給食センターにおいて調理は委託しますが、献立の作成は現状と変わらず、現在の栄養教諭等で行います。施設も充実しており、アレルギーにも対応していきます。

Q: 食育の一環として給食センターの施設見学はできるか。

A: 衛生面等から見せるための施設とはなっていませんが、調理場の様子を映像で流すこと等を考えています。

Q: 学校区は自由に選択できるのか。

A: 原則、校区を選択することはできません。

Q: 王寺小学校、王寺北小学校、王寺幼稚園の跡地の利用はどのように考えているのか。

A: ○王寺小学校
敷地内に片岡王寺の遺構があるため、校舎解体後、発掘調査を行い、その結果次第で活用方法を検討します。
○王寺北小学校
民間による提案を受けながら、現在検討しています。
○王寺幼稚園
今後検討していきます。

Q: 王寺南義務教育学校の学童はどこで受けるのか。

A: 1～4年生は現在の王寺南小学校で、5,6年生は現在の王寺南中学校で受けていただきます。

Q: 今の小中学校の先生がそのまま継続して赴任してもらえるのか。

A: 県職員になるので、県に最大限の配慮をしていただくよう要望しています。担当教科の関係や異動の対象となる先生方もおられるため、学年まで指定することは難しいですが、王寺で勤務されている先生方の多くが新しい義務教育学校に異動していただけるようにしていきたいと考えています。

Q: 児童生徒の配慮事項等の引継ぎはしっかりされるのか。

A: 遺漏のないよう必ず行います。

Q: 王寺北義務教育学校の校舎見学会はいつ行われるのか。

A: 何らかの形で見学していただける機会を設けられるよう検討していきますが、コロナ禍のこともあり、具体的な内容は検討中です。

Q: 王寺南義務教育学校は校舎が分かれることで、1～4年生にとっては、上級生の背中を見て学んだりする機会が失われてしまうのではないかと。そのような面で北と南で差が出てしまうのではないかと。

A: 義務教育学校は1～9年生まで一貫した教育を展開する学校であり、分離型としての工夫をしながら異学年交流も積極的に行っています。
また、1～9年生が共に過ごす一体型より、南校区は1～4年生まで、同様に5～9年生も学年間の触れ合いが密になります。このように分離型、一体型の特色を生かしたそれぞれの育ちがあり、9年間のトータルでの育ちを大切にしていきたいと考えています。ICT環境も充実し、それを活用しながら離れた場所にいなながらもお互いが交流する活動も考えています。

Q: 北校区の施設一体型の方が充実した環境が整っているイメージがあり、最初から南校区との差がついてしまっのスタートになるのではないかと。

A: 義務教育学校の先行校へ何度も視察研修に行き、それぞれの特色、取組等を学ぶとともに、分離型、一体型の特色を十分に発揮できる学校になるように進めてきました。
施設分離型の先行校でも施設の最高学年の成長が著しいといった成果が出ていることも踏まえ、できる限り差がつかないように分離型の特色を生かしながら取り組んでいきます。